東京カンティ 「一戸建て住宅データ白書 2018(首都圏)」発表 2018 年 新築一戸建てと新築マンションを比較 立地に大きな違いが表れる

新築一戸建ては徒歩 15 分を中心に広く分布 新築マンション駅 5 分以内に強いこだわりが表れている

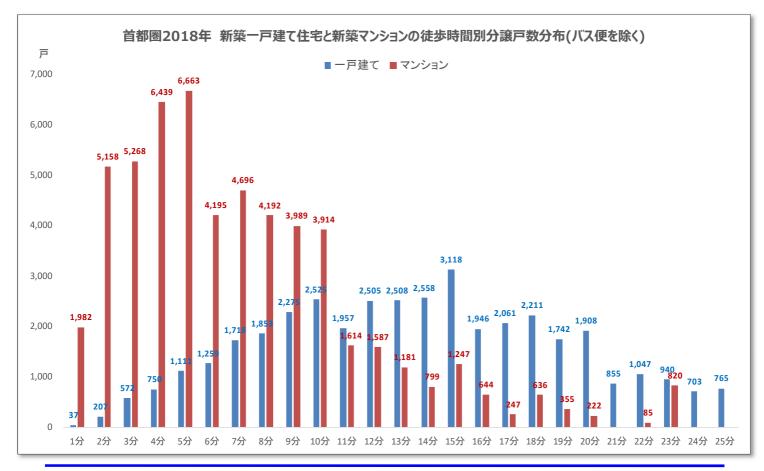
最寄り駅からの徒歩時間別に 2018 年に新規分譲された一戸建て住宅と新築マンションの分譲戸数分布を見

●駅前立地にこだわることで生まれる新築一戸建てと新築マンションの価格差

ると一戸建て住宅とマンションでは立地選択の差異が明確に表れる。(バス便物件を除き 25 分まで集計) 新築一戸建て住宅は徒歩時間についてはほぼ正規分布している。中央値は 15 分にあり、やや駅近に分布が多くなっているものの、15 分以遠にも分布している。このような傾向は首都圏・近畿圏・中部圏に共通して見られる傾向である。一戸建て住宅も駅徒歩条件とは無関係ではないものの、住環境や子育て環境の良さを求めて供給されることの多い一戸建ては、ほとんどが駐車場を備えていることから車通勤を前提に購入する人も多いため、結果として駅徒歩 15 分を中心に幅広く分布することが可能となっている。このほかの要因としては、駅間におりまり、結果として駅徒歩 15 分を中心に幅広く分布することが可能となっている。このほかの要因としては、駅間に対力を計画と真底利用や商業用途を主限に置いた計画が採用されているエルマが多いことで、かえって

いため、結果として駅徒歩 15 分を中心に幅広く分布することが可能となっている。このほかの要因としては、駅周辺は都市計画上高度利用や商業用途を主眼に置いた計画が採用されているエリアが多いことで、かえって一戸建て住宅が供給しにくい環境となっていることがある。しかし駅から大きく遠ざかると、仮に車通勤であったとしても生活利便性において支障が出てくるため、15 分が分岐点となっているのである。

一方、新築マンションでは駅徒歩 5 分以内に強いこだわりを持って供給されていた様子がわかる結果である。マンションは都市型住宅として駅近の価値が高く評価される傾向がある。そのため 5 分だけでなく7 分にも山があり利便性の基準となっていることがわかる。また一戸建て住宅のような分布ではなく 10 分を超えると極端に分譲戸数が減少する。このような結果から一戸建て住宅の供給においては、新築マンションで起きているような供給立地の競合状況が起きにくいことは想像に難くない。新築一戸建て住宅では土地面積が狭いことと、駅前立地に強いこだわりを持たない用地仕入れが行われている理由で、近年特に新築マンションと大きな価格差が生まれやすい傾向となっている。



発 行 株式会社 東京カンテイ リリース日 2019年1月31日(木) ※本記事の無断転載を禁じます。

●2018年首都圏行政区別新築一戸建て平均坪単価ランキングと新築マンションの坪単価との比較

首都圏の一戸建て価格では上位 19 位まですべて東京都の行政区が独占した。ベスト 30 のうち東京都以外の 行政区は 20 位に千葉県浦安市(188.7 万円)、22 位に横浜市青葉区(188.3 万円)、23 位に横浜市港北区

(188.2 万円)、25 位に横浜市都筑区(183.1 万円)がランクインするのみであった。

1 位は東京都港区で 368.3 万円であった。 2018年の新規分譲戸数は僅か 5 戸であった。 2 位は東京都目黒区(294.5 万円)、3 位は渋 谷区(292.2 万円)となった。2018年は目黒区 には 100 戸、渋谷区には 38 戸の分譲があった。1 位の港区では一戸建て住宅の坪単価は 368.3 万円でマンションは 580.3 万円となるの で坪あたり 212.0 万円の差が生じている。この 差についてはさして意外性があるわけではないが、マンションの坪単価順とは一定の差異 が生じている。

1位から5位は2位と3位が入れ替わるのみだが、マンションの6位は戸建てでは10位の豊島区で、マンションでは13位となる墨田区は戸建てでは26位となる。マンションと異なり新築一戸建て住宅のほとんどは建売住宅であるため、建物部分の質的均一化は進んでいると考えても良いであろう。そのような視点で見ると新築一戸建て住宅は地価の多寡をそのまま反映した順位となる傾向を持つ。一方マンションではトレンドを反映した供給が行われ価格が変動し、物件のグレードによって価格の差も大きくなるため、現在のマンション市場で注目が高まっている城北や城東エリアが上位にランクインしやすい構造を持っていると言えるだろう。

首都圏				
順位	都県名	行政区名	一戸建て 坪単価	マンション 坪単価
1	東京都	港区	368.3	580.3
2	東京都	目黒区	294.5	499.8
3	東京都	渋谷区	292.2	571.8
4	東京都	文京区	282.8	422.7
5	東京都	新宿区	277.9	409.3
6	東京都	武蔵野市	265.6	335.2
7	東京都	世田谷区	262.2	347.8
8	東京都	品川区	259.0	361.5
9	東京都	杉並区	255.6	335.0
10	東京都	豊島区	234.0	406.2
11	東京都	中野区	232.0	332.6
12	東京都	大田区	216.3	300.6
13	東京都	三鷹市	215.1	345.2
14	東京都	台東区	204.4	323.6
15	東京都	練馬区	203.0	252.6
16	東京都	小金井市	197.9	315.2
17	東京都	狛江市	197.7	253.9
18	東京都	調布市	194.8	235.0
19	東京都	北区	188.9	246.6
20	千葉県	浦安市	188.7	260.1
21	東京都	板橋区	188.3	298.8
22	神奈川県	横浜市青葉区	188.3	297.3
23	神奈川県	横浜市港北区	188.2	276.1
24	東京都	江東区	187.9	303.5
25	神奈川県	横浜市都筑区	183.1	263.9
26	東京都	墨田区	180.5	329.3
27	東京都	国分寺市	178.3	312.2
28	東京都	国立市	177.7	272.6
29	東京都	西東京市	174.9	214.7
30	東京都	府中市	173.2	268.8

※一戸建て住宅の平均坪単価は一戸平均価格を建物面積で除して求めた

※値が同じ場合、小数点2位以下の数値で順位を定めた

一戸建て住宅調査対象の条件:①敷地面積 50~300 mの物件 ②最寄り駅からの所要時間が徒歩 30 分以内かバス 20 分以内の物件 ③木造 ④土地・建物ともに所有権の物件

対象地域:全国

地域区分:【首都圈】東京都 神奈川県 千葉県 埼玉県

【近畿圏】 大阪府 兵庫県 京都府 滋賀県 奈良県 和歌山県

【中部圈】愛知県 岐阜県 三重県 静岡県

発 行 株式会社 東京カンテイ リリース日 2019年1月31日(木) ※本記事の無断転載を禁じます。